平成25年3月期　決算説明会資料

平成25年6月10日

証券コード　9857

英和株式会社

（注）この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

説明内容

企業概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
平成25年3月期決算概要 ・・・・・・ P.6
中期3ヵ年経営計画 ・・・・・・・・・・・・ P.17
平成26年3月期営業戦略 ・・・・・・・ P.20
参考資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.25

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

説明内容

企業概要

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

企業概要（平成25年3月31日現在）



代表取締役社長　阿部健治

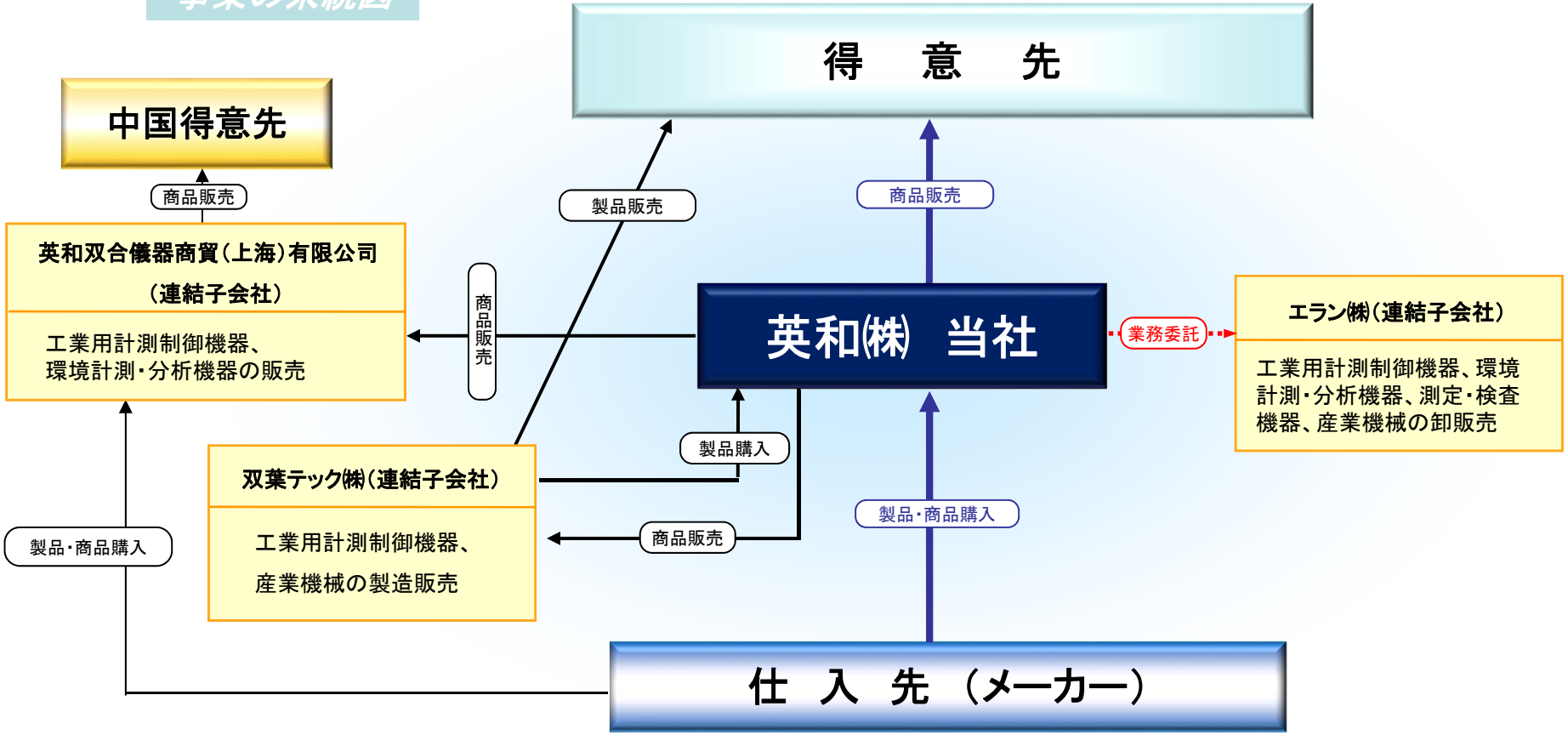
商号	：	英和株式会社（EIWA　CORPORATION）
創業	：	昭和22年6月15日
代表取締役社長	：	阿部　健治
資本金	：	1,533,400,000円
発行株式数	：	6,470,000株
上場市場	：	大阪証券取引所　市場第2部
大阪本社	：	大阪府大阪市西区北堀江四丁目1番7号
東京本社	：	東京都品川区西五反田一丁目31番1号 日本生命五反田ビル10階
その他国内営業拠点	：	33ヵ所
従業員	：	255名（連結）
連結子会社 （3社）	：	双葉テック㈱、エラン㈱、 英和双合儀器商貿（上海）有限公司

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

企業集団の状況

当社の企業集団は当社と子会社３社で構成され、工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械等の販売（一部製造販売）並びにサービス等の事業を展開。販売市場の類似性から判断して単一セグメントであるため、事業の種類別セグメントはありません。

事業の系統図



Copyright (C) EIWA Corp. 2013

平成25年3月期　決算概要

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

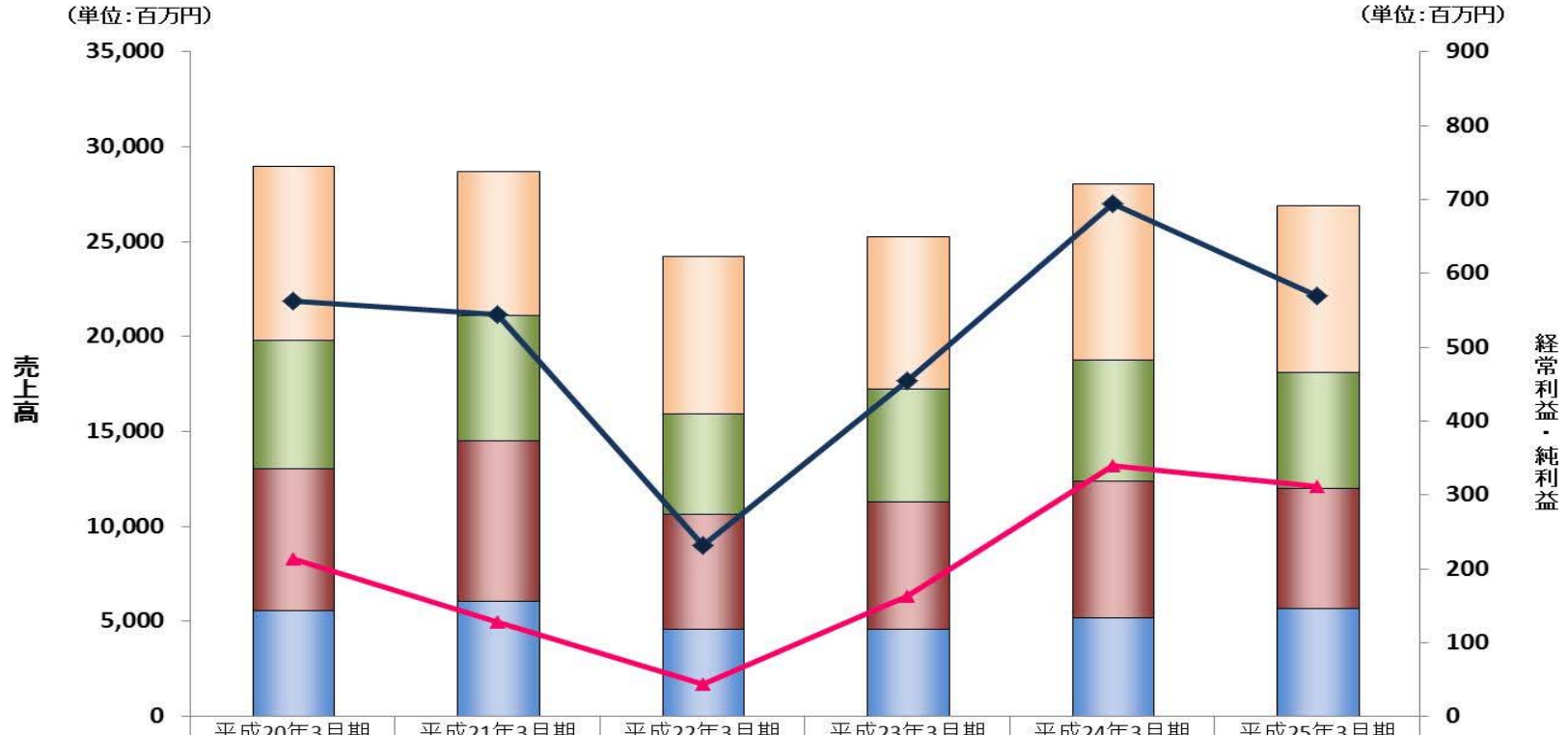
平成25年3月期業績（連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期	平成25年3月期	
	通　期	通期	前年同期比
売上高	28,087	26,908	▲　4.2%
営業利益	695	567	▲　18.3%
経常利益	695	569	▲　18.1%
当期純利益	340	312	▲　8.1%
1株当たり当期純利益	53.72 円	49.39 円	▲　8.2%
総資産	18,615	17,446	▲　6.3%
純資産	6,625	6,859	＋　3.5%
自己資本比率	35.6%	39.3%	＋　3.7

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

売上・経常利益・当期純利益業績推移（連結）



	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
第4四半期　売上高	9,165	7,589	8,306	8,061	9,293	8,770
第3四半期　売上高	6,769	6,640	5,322	5,912	6,380	6,079
第2四半期　売上高	7,438	8,405	6,044	6,694	7,205	6,326
第1四半期　売上高	5,616	6,110	4,599	4,638	5,208	5,731
通期　売上高	28,988	28,745	24,272	25,307	28,087	26,908
通期　経常利益	563	544	232	455	695	569
通期　純利益	214	128	44	163	340	312

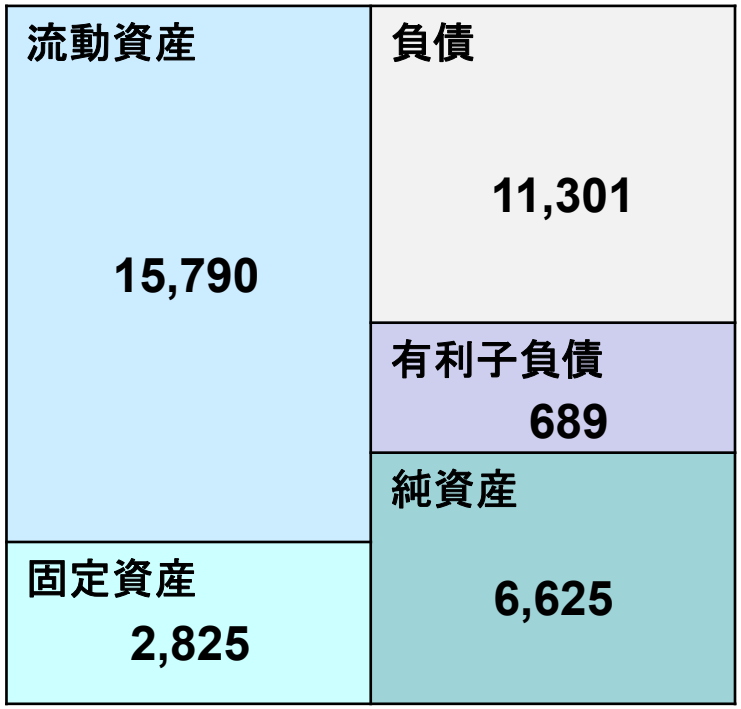
※　平成22年3月期より、端数処理の方法を四捨五入から切捨てに変更しております。

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

バランスシート推移（連結）

平成24年3月期

（単位：百万円）

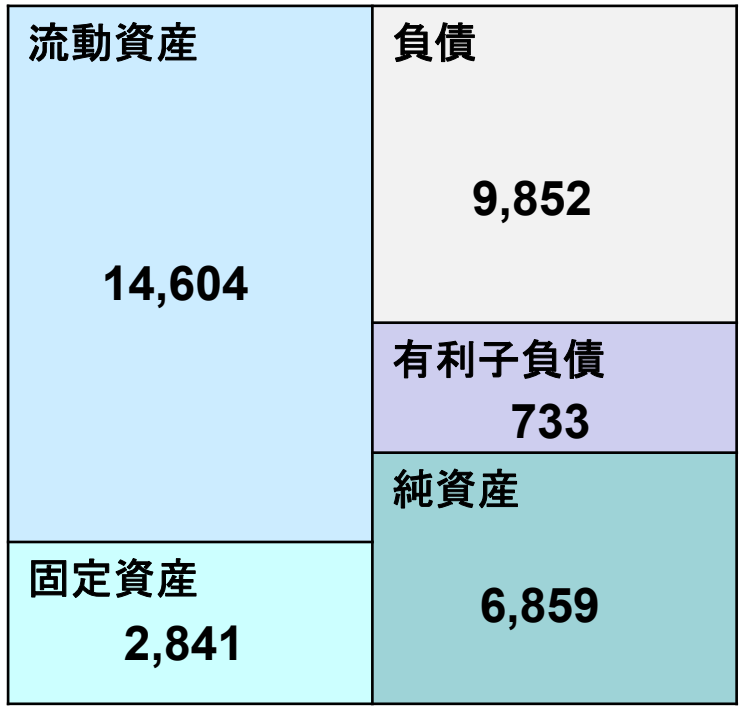


総資産　18,615

自己資本比率　35.6%

平成25年3月期

（単位：百万円）



総資産　17,446

自己資本比率　39.3%

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期	平成25年3月期
営業C/F	▲698	▲230
投資C/F	▲27	▲104
財務C/F	▲53	▲54
現金及び現金同等物の増減額	▲779	▲383
現金及び現金同等物	1,829	1,446

【平成25年3月期の状況】

営業C/F：
売上債権の回収が進んだものの、仕入債務の支払いがそれを上回った為、減少しました。

投資C/F：
事業用固定資産の取得により、減少しました。

財務C/F：
配当の支払いを行った為、減少しました。

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

品目別売上高(連結)

(単位:百万円)

	平成25年3月期 通期	平成25年3月期 前年同期比	増減要因
工業用 計測制御機器	14,482	▲ 5.5%	震災復旧需要の収束や海外輸出案件の減少、発電所の定期修繕工事の先送り、舶用機器市場の落ち込み等により、官公庁及び自動車産業向けを除き、全業界で売上が減少し、前年同期比減となりました。
環境計測・ 分析機器	2,167	▲ 4.2%	石油化学業界において、水質・大気分析機器や地震計等の更新需要は堅調に推移したものの、前年のような大型の設備更新需要がなく、公共事業向け水質分析機器の販売も落ち込み、前年同期比減となりました。
測定・ 検査機器	1,536	▲ 1.0%	研究開発市場での受注は伸張しましたが、金属製品業界や電子機器製造業界において探傷器や、粗さ計等の形状検査機器の販売が減少し、前年同期比減となりました。
産業機械	8,722	▲ 2.5%	産業車輌の販売が堅調で、再生可能エネルギーとして注目のメガソーラー設備用付帯機器他、一部新分野での受注も好調でしたが、造船・舶用業界向けエンジン用機器の販売が落ち込み、前年同期比減となりました。
合　計	26,908	▲ 4.2%	

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

注力商品（環境配慮型機器）

環境に配慮した新エネルギー・省エネ・ オイル関連機器

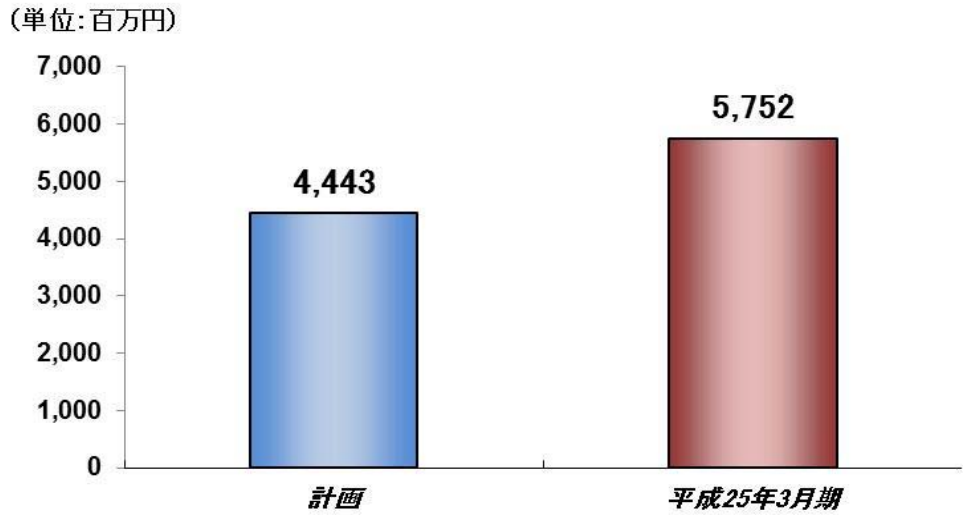
環境保全意識の高まり
CO_2排出削減、法規制対応

省エネ、廃棄物量削減
新エネルギー導入、バイオマス燃料利用

環境計測・分析・省エネ対応関連機器
オイル清浄度計測・リサイクル関連機器
風力発電・太陽光発電・燃料電池関連機器

(注) 売上高は、当社設定の注力商品についての実績です。
水質、大気、排ガスの計測・分析機器、放射線量計、
電力監視、省エネブロア、省エネコンプレッサー、
破砕機、集塵システム、清掃洗浄装置、水処理装置、
路面清掃車、床面洗浄機、オイル清浄度計測、LED照明、
オイル濾過・分離装置、エネルギー関連設備　等

売上高



エンジン・駆動系機器メーカー向けオイル清浄度管理機器の販売や路面清掃車を始めとする道路維持車輌の販売が好調に推移し、また、再生可能エネルギーとして注目のメガソーラー設備用付帯機器の受注もあり、通期達成率は129.5%となりました。省エネ・リサイクル関連機器や新エネルギーの需要は増加しておりますので、引き続き拡販に注力してまいります。

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

注力商品（保安・メンテナンス機器）

安定運転維持に必要な
計測制御機器・メンテナンス機器

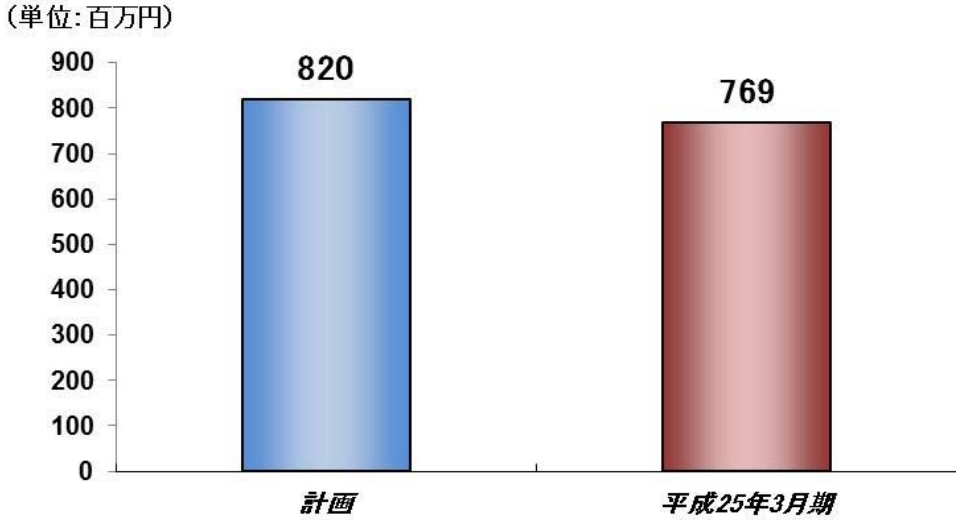
先行き不透明感
⇒設備投資への慎重な姿勢
⇒既存設備の維持・延命

既存設備の安定運転維持・管理

メンテナンス機器、計測制御機器
のリプレースが必要

(注) 売上高は、当社設定の注力仕入先・商品についての実績です。

売上高



既存設備の維持延命に対するメンテナンス機器の需要は堅調であり、毎年売上高が増加しております。計画に対しては、校正機器の販売が伸び悩み通期達成率は93.9%となりましたが、劣化度を診断する振動計や探傷器、厚さ計の販売が伸長し、前年同期比は14.2%増加となりました。「安心・安全」をキーワードに顧客の設備維持傾向は継続しておりますので、引き続き拡販に注力してまいります。

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

重点市場（研究開発）

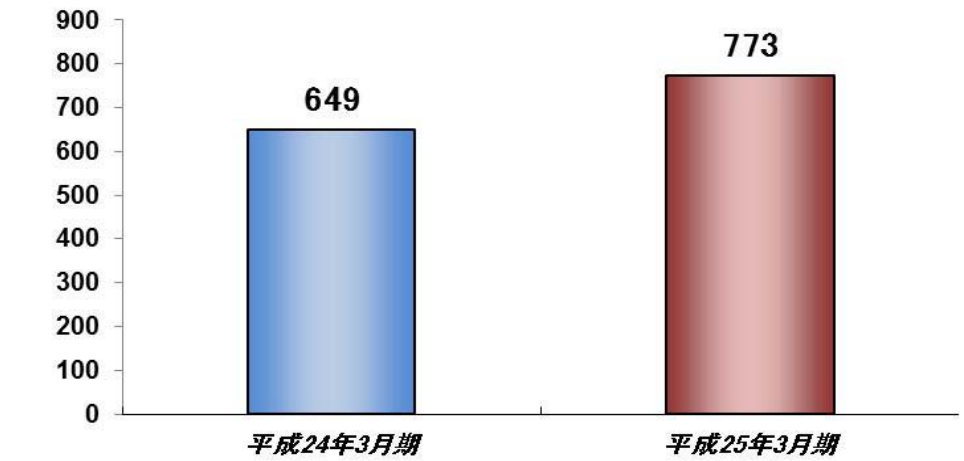
先端技術開発部門への
研究開発関連機器

持続的成長⇒新製品開発⇒研究開発投資

素材から機能製品へ（付加価値UP）
生産技術部門や品質保証部門などの
先端技術研究分野

研究開発機器・設備の
コーディネート、ソリューション

売上高



生産ラインの能力増強等の新規設備投資は低迷する中、新たな製品開発のための研究開発部門や品質保証部門に対して試験機・検査機器・分析機器等の拡販に注力しました。その結果、製品の形状検査に使用する画像測定機や顕微鏡、材料の基準値を管理する濁度・色度計等の販売が増加し、また燃料電池研究開発分野では、燃料電池作動時のその場計測を行うためのセルや　燃料電池システムに搭載される燃料電池スタックの耐久試験装置等を販売したことにより、売上高は前年同期比19.1%増となりました。

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

重点市場（中国）

経済のグローバル化を視野に海外展開

日本国内情報の有効活用による
日系企業への開発営業

↓

核となる仕入先の発掘

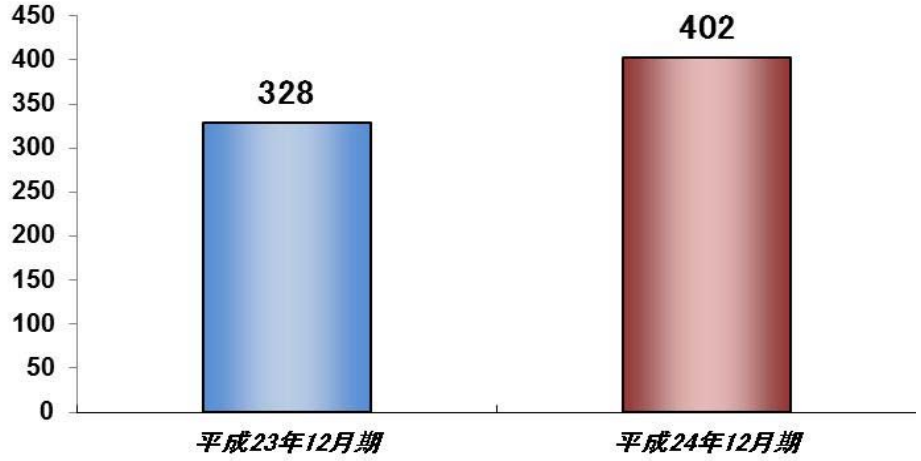
↓

**環境整備・自動化・
省力化・省エネ
⇒合理化投資へ注力**

売上高

※上海現地法人の売上は、1月～12月度の12ヶ月累計値となっております。

（単位：百万円）



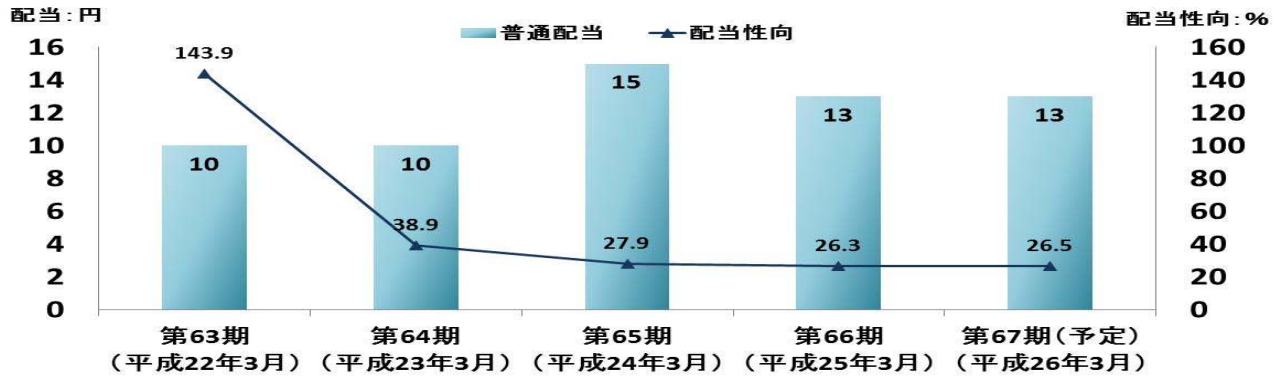
中国経済は、バブル対策を受けた住宅市場の冷え込み、欧州債務危機の影響等により国内外の需要が落ち込み、低成長にとどまりました。
そのような状況下でも、化学、素材関連を始めとする日系企業の設備投資は衰えておらず引合・受注は増加傾向にあり、リピート品である電流センサーや設備更新用温度計、流量計等の販売が増加し、売上高は前年同期比22.6%増となりました。引き続き、顧客の生産計画・設備投資計画の情報を収集し、技術力・提案力を兼ね備えた営業活動を展開してまいります。

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

株主還元策

【配当政策】
配当額：1株につき年10円を最低限維持　・　配当性向：30%を目標

	第63期（平成22年3月）	第64期（平成23年3月）	第65期（平成24年3月）	第66期（平成25年3月）	第67期（平成26年3月）
普通配当	10.00円	10.00円	15.00円	13.00円	13.00円（予定）
配当性向	143.9%	38.9%	27.9%	26.3%	
株主優待（500株以上）	クオ・カード（1,000円）	クオ・カード（1,000円）	GREENSHOES CARD（1,000円）	GREENSHOES CARD（1,000円）	
ROE（株主資本利益率）	▲0.3%	3.7%	5.2%	4.3%	



平成26年3月期予定
年間普通配当
13.00円

第2四半期末：5円
期末：8円

配当性向：26.5%
（純利益：317百万円）
※今年度見通し

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

中期3ヵ年経営計画

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

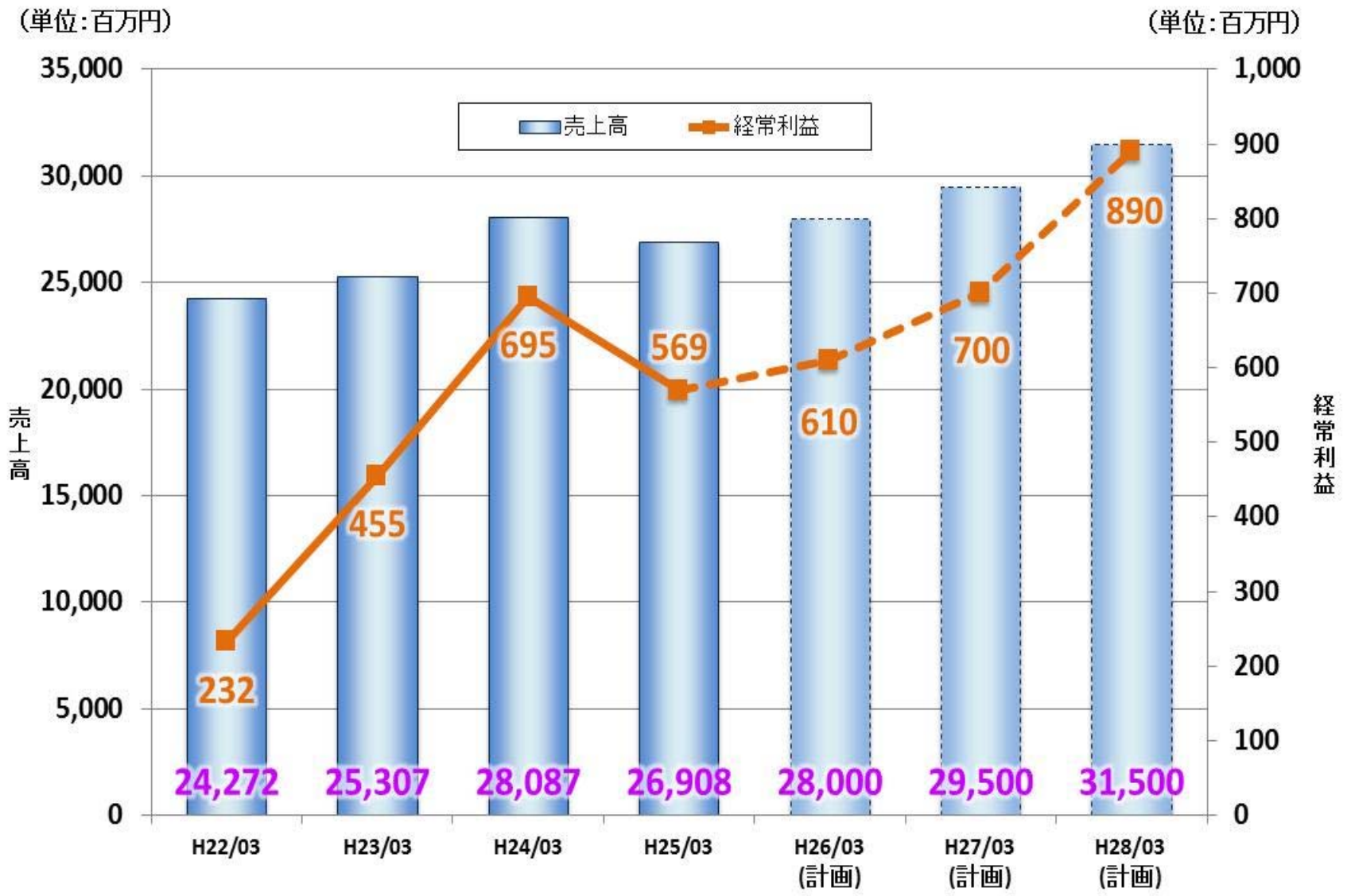
中期3ヵ年経営計画

■平成25年度中期3ヵ年経営計画は、
経済環境と平成25年3月期業績を鑑み、ローリング方式にて、
新たに平成25年度～平成27年度までの計画を策定。

平成25年度～平成27年度 経営基本方針	経営資源の有効活用による 新たな成長への挑戦
◆当社が保有する「人・モノ・金・情報・技術」等の経営資源を有効活用し、 攻めと守りの姿勢を明確にした事業展開を推進し、新たな成長の実現に挑戦。 ◆既存市場では、ワンストップ販売やエンジニアリング機能強化等付加価値営業を推進。 ◆新規事業・市場に迅速かつ積極的な展開を推進し、次世代を見据えたビジネス創造への挑戦。	
平成25年度 経営方針	現場力と総合力の強化
◆現場における社員一人一人の実行力・変革力・提案力・情報収集力等の力量を強化。 ◆組織としてベクトルを統一し、結束を高め施策を貫徹する総合力を強化。	

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

中期3ヵ年経営計画（連結）



Copyright (C) EIWA Corp. 2013

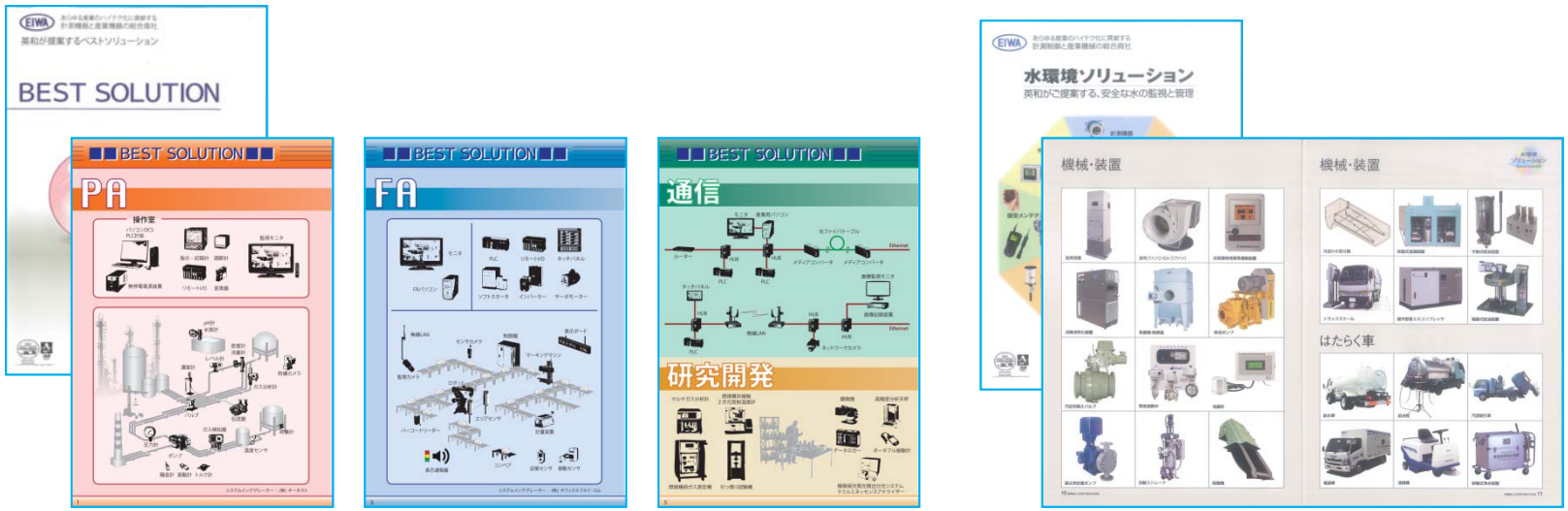
平成26年3月期　営業戦略

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

営業戦略

既存事業領域における顧客密着営業の強化

- FAシステム及び情報通信・
  ネットワーク機器の販売強化
- 電力、公共環境分野等の
  社会インフラ投資の取り込みと拡大



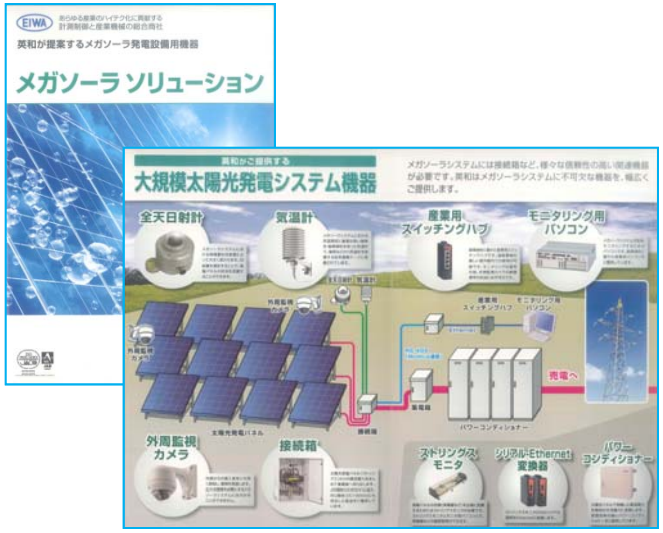
Copyright (C) EIWA Corp. 2013

営業戦略

既存事業領域における顧客密着営業の強化

- 環境、保全関連商材：オイル清浄度管理機器の拡販
- 新エネルギー：メガソーラー関連付帯機器の拡販





Copyright (C) EIWA Corp. 2013

営業戦略

先行投資分野の売上向上による収益改善

- 研究開発市場への深耕
- 中国市場の開拓と拡大







Copyright (C) EIWA Corp. 2013

営業施策

オリジナルカタログ	市場や業界状況、戦略に沿ったオリジナルカタログを作成。 お客様のニーズにマッチしたベストな商品提案。 メガソーラー　オイル　水環境   
キャラバン展示会	最新の取り扱い商品をお客様の会議室などに展示。 実機と共にご提案。 【展示一例】 環境配慮型商品 　:オイル清浄度管理機器 新エネルギー 　:メガソーラー関連機器 

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

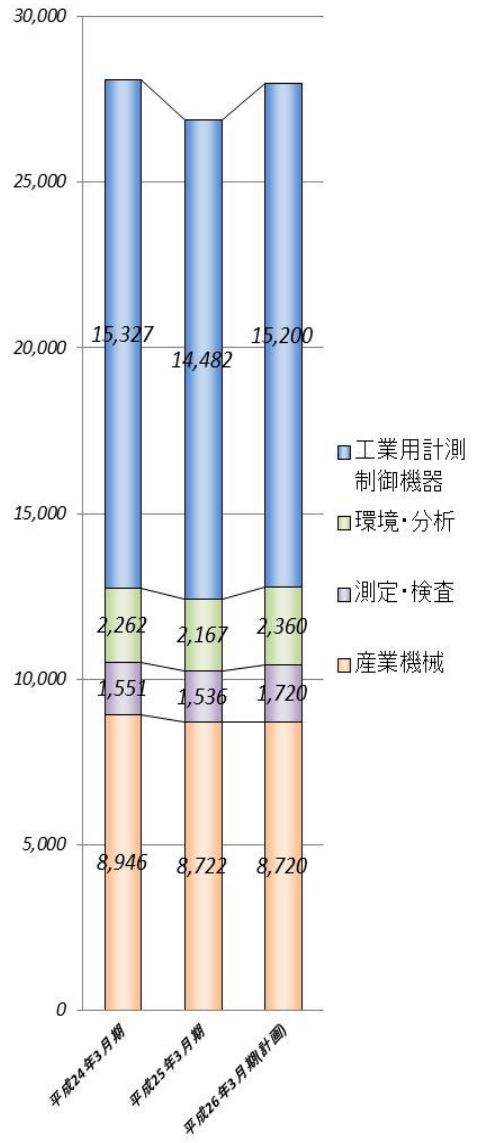
参考資料

Copyright (C) EIWA Corp. 2013

品目別売上高推移(連結)

(単位:百万円)

	平成24年3月期		平成25年3月期		平成26年3月期(計画)	
	通期	前年同期比	通期	前年同期比	通期	前年同期比
工業用計測制御機器	15,327	+8.2%	14,482	▲ 5.5 %	15,200	+5.0%
環境計測・分析機器	2,262	+13.9%	2,167	▲ 4.2 %	2,360	+8.9 %
測定・検査機器	1,551	+10.5%	1,536	▲ 1.0 %	1,720	+11.9 %
産業機械	8,946	+15.5%	8,722	▲ 2.5 %	8,720	▲ 0.0 %
合　計	28,087	+11.0%	26,908	▲ 4.2 %	28,000	+4.1 %

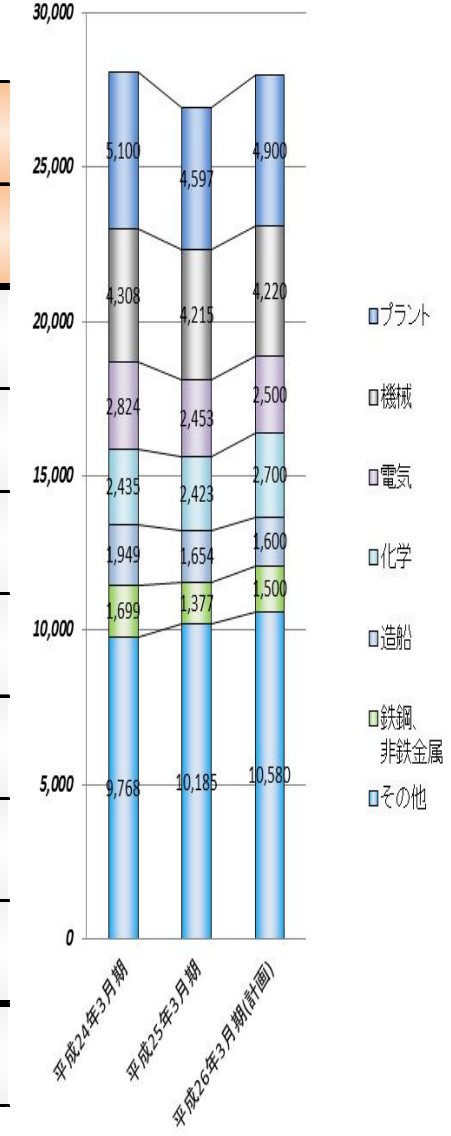


Copyright (C) EIWA Corp. 2013

業界別売上高推移（連結）

（単位：百万円）

	平成24年3月期		平成25年3月期			平成26年3月期 通期(計画)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比	前年同期比
プラント	5,100	18.2%	4,597	17.1%	▲ 9.9%	4,900	17.5%	+ 6.6%
機械	4,308	15.3%	4,215	15.7%	▲ 2.2%	4,220	15.1%	+ 0.1%
電気	2,824	10.1%	2,453	9.1%	▲ 13.1%	2,500	8.9%	+ 1.9%
化学	2,435	8.7%	2,423	9.0%	▲ 0.5%	2,700	9.6%	+ 11.4%
造船	1,949	6.9%	1,654	6.1%	▲ 15.2%	1,600	5.7%	▲ 3.3%
鉄鋼・非鉄金属	1,699	6.1%	1,377	5.1%	▲ 18.9%	1,500	5.4%	+ 8.9%
その他	9,768	34.8%	10,185	37.9%	+ 4.3%	10,580	37.8%	+ 3.9%
合　計	28,087	100.0%	26,908	100.0%	▲ 4.2%	28,000	100.0%	+ 4.1%



Copyright (C) EIWA Corp. 2013

ご清聴有難うございました。

英和株式会社

Progressive Fusion

あらゆる産業のハイテク化に貢献する計測制御と産業機械の総合商社

当社HP：http://www.eiwa-net.co.jp

Copyright (C) EIWA Corp. 2013